

高尿酸血症（痛風発作）・睡眠時無呼吸・禁煙などの専門分野の一般外来診療にも力を注いでいる。たとえばCKDの場合は、外来での保存期管理から、腎代替療法の選択支援、導入、維持透析まで一貫して対応しており、それが患者の安心感につながっている。

コロナ禍にある現在こそ一般外来は勤務医の中辻秀朗診療部長にほぼ任せ、自らは会長とともに透析患者の管理を担当しているが、一般外来患者の動向にも常に目を配り、緊急の患者や難しいケースには 感染対策を万全にしたうえで対応している。なお、外来診療は昼休みなく9:00から18:00までずっと行っている。大阪国際空港（伊丹空港）から車で約10分という立地がら、旅行者や出張中のビジネスパーソンなどの受診も多い。



岸田理事長（右）と父の岸田直博虹緑会会長（左）



大病院での経験を生かし一般外来で幅広い患者を診療する岸田理事長



岸田理事長は大学院で代謝・動脈硬化を研究。主席で卒業した



待合室には阪神タイガース選手のサインが並び

